

気転

「気転」の美德は、「私は気転を利かせます。私は話す前に考え、人の気持ちを思いやります。私は本当のことを優しく話します。」ということ。では、『気転を利かして話す』とはどのようなことでしょうか。

まず、「気転を利かす」ために、話しをする前に間を置きます。反射的に何かを言うのではなく、言葉を選びながら話すのです。怒ったり、心が動揺しているときには特に重要です。気持ちを大声を出してはき出すのではなく、一端心を鎮めてから、自分の気持ちが伝わるように話し始めます。

つまり、「気転を利かす」とは、その間に考えることです。自分の言葉が相手の人にどのような影響を与えるかを配慮しながら、真実を告げられるよう考えます。言うべきことと、言うべきではないことを見極めることです。そうすれば、どんなことでも人に言うことができますし、人は耳を傾ける気持ちになるでしょう。

さらに、「気転を利かす」には、その真実を優しく告げることです。からかうような口調や、違いのみを指摘して人に恥をかかせるようなことはしません。真実を告げるときに親切な思いを抱くことです。人は誰でも自分の気持ちを思いやってほしいと思っています。その同じ思いをもって人の気持ちを思いやることです。

人が気転を發揮すれば、丁寧な態度をとることができます。気転を利かせて話せば、自分が言いにくいことを言ったとしても、それを聞いた人も言ってくれたことに感謝するでしょう。気転は人と人との間に橋をかけてくれます。